

令和3年 夏休み前「全校集会」のことば（令和3年7月20日）

校長 下雅意 一之

おはようございます。昨年は臨時休業が続き全体が登校できたのが7月だったのを覚えていますか？そのときは生徒の皆さんの声が響いてこそ学校であると、日常・当たり前前のできる平穩の大切さを痛感しました。

本年度は、コロナ禍にあって連日感染者数が伝えられ、緊急事態宣言に続き、まんえん防止措置がとられている中にありながらも、4月から生徒のみなさんが毎日あいさつよく登校し、また感染者もまったくなく、本日、こうして前期夏休み前の全校集会を行うことができることは、たいへん喜ばしい限りです。

学校では臨時休業もなく、ほんとうに日常が戻ってきたかのようにも思えますが、まだまだ予断はできません。行事等も縮小にての開催、実習等においても中止や変更もあったことと思います。引き続き感染予防については注意してほしいと思います。

話を変えます。みなさんにとって本校での学校生活は充実していますか？

1年生のみなさんは、学校には慣れましたか？

2年生は、コロナの影響を一番受けた学年で、様々な制約やいろいろな我慢をお願いしていた中で、よく頑張ってきたと思います。本校での学びはいかがですか？

自身の進路について考え、目標はそろそろ決まってきましたか。

3年生は、どうでしょうか？いよいよ夏休み明け9月からは就職試験が始まり実現に向けてのラストスパートになります。

各学年ともに有意義で充実した夏休みにしてほしいです。

さて、世の中に目を向けますと、いよいよ3日後の7月23日より、東京2020オリンピックが8月8日までの期間、続いて東京2020パラリンピックが8月24日から9月5日までの期間で開催されます。

このたびの大会ビジョンは「全員が自己ベスト」「未来への継承」「多様性と調和」と掲げられています。

今大会では、無観客での開催になりとても残念ですが、ウィズ・コロナにあっても感染対策を十分に講じ、安心安全な大会運営に努め、新しい形でのオリパラの在り方を世界に発信し、日本がさきがけとなって未来につなげていくという大きな目標があるようです。

そして、オリンピックに出場する選手たちに目を向けますと、4年に一度の大会をめざし、これまで厳しい練習を重ね、それぞれの国の選考大会を勝ち抜き、そのうえ競技種目によっては世界標準記録やランキングなども突破して、ようやくこの舞台に立とうとしています。それぞれの国の期待を一身に背負い、世界から日本に集まっています。

選手たちは代表選考のときもそうであったと思いますが、今はきっと大会本番に向けて、いかに最高の状態（ピーク）に持っていくか、自分自身と勝負をしているように思えます。集中力を高めピークにもっていきのがもっとも難しいことのように思えます。緊張感や雑念やさまざまな心情が入り混じっても、目標を見据え、自分自身を決して見失うことなく大きな試練を乗り越えようとしている姿が想像され、選手たちの息遣いが聞こえてくるようです。

来たる東京2020オリパラではきっと筋書きのないドラマが展開し、大きな感動場面にも出会えることと思います。1年遅れの開催にはなりましたが楽しみです。

みなさんには東京2020オリパライヤーにあやかって夏休みのお願いがあります。

それは、自分自身の目標に向かって、いかにしたら最高点（ピーク）にもっていかれるかを考え、行動に努めて、悔いのないように過ごしてください。

これで、夏休み前「全校集会」のことばとします。